

- 問1 アラスカの広大な原野において、太い輸送管が支柱によって地面から一定の高さに保たれた状態で地平線まで続いている様子が見られます。この施設に関連する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 乾燥帯の砂漠において、貴重な地下水を都市部へ供給するために建設された外来河川の引水管である。 | 2. 熱帯雨林の湿地帯において、銅鉱石を効率よく港まで運ぶために建設された輸送路である。 | 3. 永久凍土が広がる寒冷地において、原油を輸送するために建設されたパイプラインである。 | 4. 季節風による大雪の影響を避けるため、石炭を地上から浮かせて運ぶ専用の鉄道高架である。 |
|---|--|--|---|
- 問2 アメリカ合衆国において、1970年代以降に北緯37度より南の温暖な地域で急速に発展した、先端技術（ハイテク）産業が盛んな地域を何と呼びますか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|
| 1. シリコンバレー | 2. コーンベルト | 3. スノーベルト | 4. サンベルト |
|------------|-----------|-----------|----------|
- 問3 北アメリカ大陸の南部に位置し、北側ではアメリカ合衆国と長い国境を接している連邦制国家はどこですか。太平洋とカリブ海の両方に面しており、地理的に中央アメリカ諸国とも隣接している国名を選びなさい。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-----------|---------|---------|
| 1. カナダ | 2. アルゼンチン | 3. ブラジル | 4. メキシコ |
|--------|-----------|---------|---------|
- 問4 2020年におけるフランスとアメリカ合衆国の貿易統計について、自動車という品目における共通の傾向を述べた文として正しいものはどれか。なお、両国とも自動車は輸出額・輸入額ともに品目別で第2位に位置しているものとする。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------|--------------------------------|---|
| 1. フランスは自動車の輸出額が輸入額を上回っているが、アメリカ合衆国は輸入額が輸出額を上回っている。 | 2. 自動車の輸入額が輸出額を下回り、輸出超過の状態にある。 | 3. 自動車の輸出額が輸入額を下回り、輸入超過の状態にある。 | 4. アメリカ合衆国は自動車の輸出額が輸入額を上回っているが、フランスは輸入額が輸出額を上回っている。 |
|---|--------------------------------|--------------------------------|---|
- 問5 ある国の貿易統計において、輸出額ではアメリカ合衆国が約27万5千百万ドルと突出しており、次いでカナダ、中国、コロンビアの順となっています。また、輸入においてもアメリカ合衆国が第1位で、中国、日本、韓国、ドイツが続くという特徴を持つ国はどこですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|
| 1. フィリピン | 2. アルゼンチン | 3. ブラジル | 4. メキシコ |
|----------|-----------|---------|---------|
- 問6 北アメリカ大陸の西側に位置し、大陸を南北に貫くように連なる標高が高く険しい褶曲山脈の名称を選びなさい。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. ロッキー山脈 | 2. アパラチア山脈 | 3. アンデス山脈 | 4. アルプス山脈 |
|-----------|------------|-----------|-----------|
- 問7 アメリカ合衆国の北東部から中西部、特に五大湖周辺に集積する自動車工業について、統計上の特徴や貿易の動向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 人口千人あたりの自動車保有台数が約860台と非常に高く、自由貿易協定を活用してカナダやメキシコなどの隣国への輸出を盛んに行っている。 | 2. 広大な国土のため自動車の需要は高いが、自由貿易協定による関税の影響を避けるため、隣国への輸出よりもアジア市場を優先している。 | 3. 国内産業を保護するため特定の一国のみの企業が生産を独占しており、主にアフリカなどの発展途上国への輸出に力を入れている。 | 4. かつては五大湖周辺で盛んであったが、現在はすべての工場がサンベルトへ移転したため、北東部での生産は完全に行われなくなっている。 |
|---|---|--|--|
- 問8 日本の小麦の輸入先について、アメリカ合衆国が輸入量全体の半分以上を占めていますが、これに次いで輸入全体の約27%を占める、日本にとって重要な貿易相手国はどこですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|------------|---------|
| 1. 中国 | 2. カナダ | 3. オーストラリア | 4. フランス |
|-------|--------|------------|---------|
- 問9 アメリカ合衆国とブラジルが、世界の大豆輸出量の合計で7割以上という極めて高いシェアを維持できている背景として、共通する地理的・経済的要因を説明したものを選んでください。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. アジア向けの食用大豆に特化し、小規模な農地で手間をかけた有機栽培を行っているため。 | 2. 広大な平原や開拓地を活用し、大型機械を用いた大規模な企業的農業を行っているため。 | 3. 生産された大豆のほとんどを自国内で消費し、余った分だけを輸出する政策をとっているため。 | 4. 降水量の少ない砂漠地帯において、最新の滴下かんがい技術を駆使して栽培しているため。 |
|--|---|--|--|
- 問10 都市の土地利用において、郊外に見られる一般的な特徴を説明したものとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 地価が比較的安いため、広大な土地を必要とする大規模な施設や住宅地が形成されやすい | 2. 人口密度が非常に高く、限られた土地を有効に使うために住宅が密集して建てられている | 3. 利便性が最も高いため、官公庁や企業の中心的なオフィスが狭い範囲に集中している | 4. 土地の価格が極めて高いため、高層ビルや地下街を建設して土地を高度に利用している |
|---|---|---|--|
- 問11 アメリカ合衆国の西海岸にあるサンフランシスコから、東海岸のニューヨークまでを直線で結んだ地形断面の特徴について、地学的な背景を踏まえて説明したものとして適切なものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 西側のロッキー山脈は比較的新しい時代に形成されたため高く険しいが、東側のアパラチア山脈は古い時代に形成され浸食が進んでいるため標高が低い。 | 2. 大陸の両端には安定陸塊である険しい山脈が位置し、そのプレートの境界にあたる中央部には巨大な盆地が形成されている。 | 3. 中央部の平原地帯はかつて巨大な山脈であったが、氷河の削削によって完全に平坦化されたため、大陸で最も標高が低い地域となっている。 | 4. 環太平洋造山帯に属する東部のアパラチア山脈は、西部のロッキー山脈よりも地殻変動が活発であるため、より険しい山容を呈している。 |
|--|---|--|---|
- 問12 温室効果ガスの排出量に関する統計において、2020年時点の排出総量が約4,744百万トンと世界的に見て上位にあり、さらに国民1人あたりの排出量が約12.9トンと、他の主要国と比較しても極めて高い水準にある国はどこですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|------------|
| 1. 中国 | 2. インド | 3. 日本 | 4. アメリカ合衆国 |
|-------|--------|-------|------------|
- 問13 アメリカ合衆国の内陸部において、乾燥した地域でも大規模な農業を可能にしている仕組みについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. センターピットと呼ばれる、地下水を汲み上げて長いアームで円形に散水する自動灌漑施設を利用している。 | 2. 家畜を季節ごとに移動させ、自然に生える草を餌として利用する伝統的な放牧を行っている。 | 3. 森林を焼き払った後の灰を肥料として利用し、数年ごとに耕作地を移動させる方式をとっている。 | 4. 等高線に合わせて土地を階段状に切り拓き、雨水を効率よく貯めることで稲作を行っている。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 永久凍土が広がる寒冷地において、原油を輸送するために建設されたパイプラインである。	北アメリカの北極海沿岸などで産出される原油を、凍結しない港まで運ぶために建設されたのがアラスカのパイプラインです。この地域特有の「永久凍土」という環境条件に対応するため、一般的に地中埋設ではなく、高床式のような構造で地上に設置されているのが大きな特徴です。
問2	答え 4 サンベルト	アメリカ合衆国の南部から西部にかけて広がる北緯37度以南の地域は、温暖な気候に恵まれていることからこのように呼ばれます。かつて重工業が盛んだった北東部の「スノーベルト」に対して、1970年代以降、豊かな土地や安価な労働力を背景にハイテク産業や航空宇宙産業が集中し、経済成長の主要な舞台となりました。
問3	答え 4 メキシコ	この国は北アメリカ州に区分され、アメリカ合衆国の南に位置しています。アメリカ合衆国、カナダとともに北米の主要な経済圏を構成しており、北米自由貿易協定（NAFTA、現在のUSMCA）などを通じて近隣諸国と強い経済的結びつきを持っています。南側ではグアテマラやベリーズといった中央アメリカの国々と接しているのが特徴です。
問4	答え 3 自動車の輸出額が輸入額を下回る、輸入超過の状態にある。	2020年の統計において、フランスは輸出総額に占める自動車の割合が8.7%であるのに対し、輸入総額に占める割合は10.9%となっています。同様にアメリカ合衆国も、輸出に占める割合が7.1%であるのに対し、輸入に占める割合は10.4%となっており、どちらの国も自動車の輸出額より輸入額の方が多いことがわかります。これは、先進工業国であっても、自国内の需要を満たすためや国際的な分業によって、特定の工業製品を大量に輸入する構造があることを示しています。
問5	答え 4 メキシコ	アメリカ合衆国と長い国境を接している地理的条件から、輸出入ともにアメリカへの依存度が極めて高いのが特徴です。北米自由貿易協定（NAFTA）やその後継のUSMCAなどの枠組みもあり、アメリカやカナダといった北米地域、および同じスペイン語圏の中南米諸国であるコロンビアなどとの経済的結びつきが強くなっています。
問6	答え 1 ロッキー山脈	北アメリカ大陸の西部に位置する新期造山帯の山脈です。環太平洋造山帯の一部であり、プレート運動によって押し曲げられた地層が隆起して形成されました。同じ新期造山帯でも、南アメリカ大陸にあるものはアンデス山脈、ヨーロッパにあるものはアルプス山脈と呼ばれます。
問7	答え 1 人口千人あたりの自動車保有台数が約860台と非常に高く、自由貿易協定を活用してカナダやメキシコなどの隣国への輸出を盛んに行っている。	アメリカ合衆国は、世界的に見ても自動車保有台数が非常に多い（千人あたり約860.4台）という特徴があります。自動車工業は伝統的に五大湖周辺の北東部から中西部にかけて発達しており、現在は自国企業だけでなく多くの多国籍企業が生産を行っています。また、USMCA（旧NAFTA）などの自由貿易協定を結んでいるカナダやメキシコといった隣国への輸出が、貿易において重要な役割を果たしています。
問8	答え 2 カナダ	日本の小麦輸入は特定の国への依存度が高く、北米の2カ国で大半を占めています。アメリカ合衆国が全体の約52%を供給しており、それに次ぐ第2位の輸入相手国がカナダです。オーストラリアも主要な輸入先の一つですが、カナダは日本の小麦需要を支える極めて重要な役割を担っています。
問9	答え 2 広大な平原や開拓地を活用し、大型機械を用いた大規模な企業的農業を行っているため。	アメリカ合衆国のグレートプレーンズや中央平原、ブラジルのカンボ・セラードといった広大な土地では、大型機械を導入した効率的な大規模農業が行われています。これにより、家畜の飼料や油脂の原料となる大豆を大量かつ安価に生産し、世界市場へ供給することが可能になっています。
問10	答え 1 地価が比較的安いと、広大な土地を必要とする大規模な施設や住宅地が形成されやすい	都市の構造において、中心部から離れるほど地価は下がる傾向にあります。そのため郊外では、都心では確保が難しい広い敷地を利用できるようになります。具体的には、大型ショッピングセンター、大規模な工場、ゆとりある敷地を持つ住宅地などが立地しやすくなるのが、郊外の土地利用の大きな特徴です。
問11	答え 1 西側のロッキー山脈は比較的新しい時代に形成されたため高く険しいが、東側のアパラチア山脈は古い時代に形成され浸食が進んでいるため標高が低い。	アメリカ合衆国の地形断面を理解する上で、造山運動の時期の違いは重要です。西部のロッキー山脈は新期造山帯に属し、現在も標高が高く険しい地形を維持しています。一方、東部のアパラチア山脈は古期造山帯に属し、形成から長い年月が経過して浸食が進んだため、標高2000mに満たないなだらかな山地となっています。中央部は安定陸塊の上に土砂が堆積した広大な平原となっており、農業地帯として利用されています。
問12	答え 4 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、先進国の中で最も温室効果ガスの排出量が多い国の一つです。中国は排出総量では世界1位ですが、人口が非常に多いため1人あたりの排出量はアメリカ合衆国を下回ります。アメリカ合衆国は、大規模な農業や工業、そして大量消費型の生活様式を背景に、1人あたりの排出量が非常に多いのが特徴です。
問13	答え 1 センターピットと呼ばれる、地下水を汲み上げて長いアームで円形に散水する自動灌漑施設を利用している。	アメリカの企業的農業では、降水量の少ない地域でも安定した収穫を得るために、科学技術を用いた灌漑が不可欠です。センターピットは、地下水を動力によって円を描くように散水するシステムで、これにより広大な乾燥地を農地に変えています。他の選択肢にある棚田や焼畑農業は、この地域の地理的特徴とは一致しません。